

第1回埼玉県知事・さいたま市長意見交換会概要

1 新型コロナウイルス感染症対策について

(1) 市立病院旧病棟の今後の活用について

市立病院旧病棟の今後の活用については、今後の感染拡大状況を見極めつつ、引き続き協力関係の下、調整を図っていく。

(2) 防災対策について

「在宅」や「知人・親戚宅」への避難については、県市で、更なる周知・啓発を行っていく。

県立高等学校教室の避難スペースとしての活用について、県立学校と市で避難所利用の覚書の見直しを進め、教室の利用を含めた弾力的な運用を幅広く検討していく。

「さいたまスーパーアリーナ」での避難者の受け入れ等について、県・市・(株)さいたまアリーナが締結している協定を踏まえ、現場レベルで事前協議・連絡体制を整えて、市からの開設要請に応じていく。

(3) PCR検査について

クラスターの発生を未然に防止するため、濃厚接触者以外の方を含むPCR検査の拡大について、基準を共有し積極的に対応していく。

(4) 新型コロナウイルスワクチンの接種について

新型コロナウイルスワクチンの接種を円滑に実施できるよう、県と市であらかじめ連携体制を構築しておく。

2 SDGsの取組について

県が進める「埼玉版SDGs官民連携プラットフォーム」などの施策に、SDGs推進の先進都市であるさいたま市としても積極的に協力していく。

SDGsにおける県の登録制度と市の認証制度を連携していく。

3 その他

知事と市長の意見交換の場を、今後も定期的に設けていく。